

ベルマーク運動の歩み

1960年に始まったベルマーク運動は、ことしで57周年です。

運動スタート時には、参加校はわずか2263校でしたが、

現在は約2万8000の学校・団体が参加しています。

一方で、1992～96年度に8億点台だった集票点数は、少子化などの影響もあって減り始め、

2006年度には4億2000万点にまで落ち込みました。

しかし再び増え始め、2011年度以降はおよそ5億点を維持しています。

時代の流れと運動のあゆみを紹介します。

年度	財団のできごと	国内外の出来事
1957	全国へき地教育研究連盟が朝日新聞社にへき地学校支援を要請	なべ底不況(57年下期～58年下期) 58年 日清食品、世界初のインスタントラーメン発売 正田美智子さん皇太子妃に内定、ミッチーブーム 岩戸景気(58年下期～61年下期)
1960	へき地学校などの教育設備の整備・充実を目的とする「財団法人教育設備助成会」(現・ベルマーク教育助成財団)の設立	60年 閣議、国民所得倍増計画を決定
1961	全国のPTAに運動の参加を呼びかけ参加PTA数2,263校でベルマーク運動が実質的に始まる。広島県呉市の上山田小学校から、初の証票小包が財団に届く(4,090点)。東京都文京区の茗台中学校が全国初のお買いもの	61年 実質経済成長率14.5% 坂本九の「上を向いて歩こう」が大ヒット
1963	へき地学校への援助事業が始まる	
1964	ベルマーク資金の累計が1億円を突破	64年 新潟を中心に大地震 東海道新幹線開通 東京オリンピック開催、女子バレーなど金メダル 65年下期～70年下期 いざなぎ景気
1970	「月刊ベルマーク」(現・ベルマーク新聞)創刊	
1972	沖縄の本土復帰を記念して「ベルマークで沖縄の小中学校に教育設備品を」の全国運動を展開	73年 第一次石油危機 74年 高校進学率90%を超す 76年 戦後生まれ、総人口の半数を超える
1977	大阪朝日ビルでPTAへ初の説明会。	77年 平均寿命、男性72.69歳世界1位、女性77.95歳でスウェーデンとともに1位 81年 宅配便の取扱い約1億個で、郵便小包(書籍除く)を抜く
1982	ベルマーク証票総累計100万点校が1,000校を超える。	
1984	三宅島噴火(1983年10月)の被災校を支援。	
1985	養護学校への援助が始まる。	
1986	盲学校の全70校に点字図書を贈る	
1989	ベルマーク資金の累計が100億円を突破	89年 東西冷戦の終結

1990	財団30周年記念事業で海外援助・聾学校援助が始まる	
1991	海外の日本人学校への援助も始まる	91年 長崎県の雲仙普賢岳で大火砕流
1992	長崎県雲仙普賢岳噴火の被災校を援助	
1993	北海道南西沖地震奥尻島の被災校を支援	
1994	阪神・淡路大地震(1995年1月)の被災校援助(神戸市、西宮市、芦屋市の教育委員会へ)	95年1月 阪神淡路大地震
1995	阪神・淡路大地震の被災校に対して各地のPTAからの緊急援助申込が続々集まる	
1996	阪神・淡路大地震の被災校へ援助継続	
1997	財団の援助対象を拡充し、国内外の教育活動全般に広げる。財団名を「教育設備助成会」から「ベルマーク教育助成財団」(略称・ベルマーク財団)に改称。 病院内学級に初の援助、「ソフト援助」の第一弾として「一輪車講習会」始まる	
1998	へき地学校などへの年次教育助成事業に加えて、新たに「ベルマーク資金」を直接援助に生かす「友愛援助事業」を始める	
1999	小規模の学校を対象に理科の実験や工作をする「実験教室」を開催	
2000	「友愛援助」への寄付校・園に盾を贈呈 財団設立40周年記念事業としてベルマーク運動貢献校に盾を贈る	三宅島の雄山噴火
2001	「友愛援助」への寄付校・園に盾を贈呈	米国で同時多発テロ
2002	「緊急友愛援助」でアフガニスタンの戦災孤児救済 ベルマーク資金の累計が200億円突破	東ティモール、インドネシアから独立
2003	運動参加校が28,000校を超える	
2004	新潟県中越地震の被災校救援で「緊急友愛援助」を呼びかけ、第一次援助を届ける	スマトラ沖大地震
2005	新潟県中越地震の被災校援助を継続、新潟県中越地震援助累計は186校6,200万円相当に福岡県西方沖地震救援に280万円相当、三宅島に帰島した子供たちの激励援助として150万円相当を拠出	CO2削減の京都議定書発効
2006	公民館、生涯学習センターなどの社会教育施設や大学、短大などベルマーク運動の参加資格範囲を拡大。2年ぶりに校舎を新設し、授業を再開した新潟県山古志小学校中学校に激励支援として100万円相当の援助	
2007	玄界小学校中学校の授業再開の激励援助 能登半島地震の被災校援助 財政再建団体の北海道夕張市の小中学校へ激励援助 新潟県中越沖地震の被災校援助	

<p>2008 財政再建団体の北海道夕張市の中学校へ激励援助</p> <p>岩手・宮城内陸地震被災校援助</p> <p>中国・四川大地震、ミャンマー大水害の被災援助</p> <p>ミャンマー大型サイクロン被災のヤンゴン日本人学校援助</p>	<p>中国・四川大地震</p> <p>北京オリンピックで男子水泳など金メダル</p>
<p>2009 財政再建団体の北海道夕張市の中学校へ激励援助</p> <p>中国・四川大地震、ミャンマー大水害の被災援助</p>	<p>自民党から民主党に政権交代</p>
<p>2010 「ベルマーク運動再生5カ年計画」開始</p> <p>運営規定の一部変更が認められ、ベルマーク預金で消耗品のノートなど何でも購入できることに</p> <p>50周年記念事業「ベルマークファミリー」キャラクター誕生</p> <p>ベルマーク版オナー・ビジット開始(増田明美、池上彰など5回)</p> <p>奄美集中豪雨緊急援助</p>	<p>ハイチ大地震</p> <p>上海国際博覧会開催</p> <p>奄美集中豪雨</p>
<p>2011 新規補助事業「教育応援隊」がスタート</p> <p>公益財団法人に移行(6月1日付)</p> <p>台風12号(和歌山・三重・奈良)被災校援助</p> <p>[東日本大震災援助関連]</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 東日本大震災で被災した257校に各50万円相当の設備品などを贈るほか、緊急友愛援助、震災支援寄贈マークの呼びかけを開始 ● 東日本大震災復興支援活動報告会を東京で開催 	<p>東日本大震災。M9.0、最大震度7。18,400人超の死者・行方不明者。巨大津波のほか、東京電力福島第一原子力発電所で水素爆発・炉心溶融も発生。</p>
<p>2012 標語コンクールの最優秀作品をモチーフにしたポスター製作</p> <p>ベルマーク資金の累計が250億円突破</p> <p>九州水害被災校援助</p> <p>[東日本大震災援助関連]</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 東日本大震災被災校援助として教材支援を継続するほか、宮城県内43中学校に部活動などの移動バス費用として300万円支援を試験的に実施 	<p>東日本大震災から1年</p> <p>各地で追悼行事</p> <p>北海道・泊原子力発電所が運転停止、稼働の原発「ゼロ」に</p> <p>消費税増税法が成立</p>
<p>2013 財団の本拠事務所を東京都中央区築地に移転</p> <p>ウェブベルマーク運動スタート</p> <p>へき地ソフト援助の試験事業として出前アート教室を2校で実施</p> <p>[東日本大震災援助関連]</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 東日本大震災被災校援助で、岩手、宮城、福島3県の被災・復興程度に応じた重点的、柔軟な支援を継続。移動バス費用支援も本格的に 	
<p>2014 ホームページの全面改訂</p> <p>東京学芸大学附属大泉小学校がベルマーク累計点数1400万点を達成。小学校で全国一</p>	<p>消費税が5%から8%に引き上げ。消費増税は17年ぶり</p> <p>広島市北部で集中豪雨による土砂災害で74人が死亡</p>

<p>広島市の土砂災害被災校を援助</p> <p>[東日本大震災援助関連]</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 希望の教材、クラブ活動や校外学習のために利用するバス代の支援を継続 ● 協賛会社キューピーによる東日本大震災被災校支援の特別寄付が3年間で9800万円。さらに2年間継続 	
<p>2015 ヘルマーク大使の創設</p> <p>55周年事業としてヘルマークシール、スタンプなどを製作</p> <p>大学・公民館の参加開始から10年、251団体が参加。</p> <p>[東日本大震災援助関連]</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 各校が必要とする設備品・教材や、生徒が部活動や遠征試合・競技大会、校外学習などの移動で利用するバスの交通費援助を継続 ● ウェブヘルマーク協会から助成金149万円届く 	<p>ネパールで大地震、9000人近く死亡</p>
<p>2016 ヘルマーク財団の業務を統合して効率を上げるため、名古屋・福岡の両事務所を閉鎖</p> <p>[熊本地震援助関連]</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 熊本県PTA連合会の要請をうけ、栄養補助食品17,500食の費用として約300万円を緊急支援 <p>熊本・大分両県の被災校90校に総額2450円相当を支援。緊急友愛援助の呼びかけを開始</p> <p>[東日本大震災援助関連]</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 岩手、宮城、福島の前震で小中学校146校を支援 <p>岩手県が31小学校と25中学校、宮城県が15小学校、28中学校、福島県が36小学校、11中学校</p> <p>支援対象校は、現地の実情に詳しい各県の小学・中学校長会の協力を得て選定</p> <p>1校あたり18～30万円、総額計3336万円相当を支援</p> <p>各校が必要とする設備品・教材や、生徒が部活動や遠征試合・競技大会、校外学習などの移動で利用するバスの交通費援助</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 「寺子屋」的な活動で児童生徒支援をする3県の3団体に各50万円の資金支援 ● 福島・水俣の中学生交流事業に50万円の資金支援 ● 友愛援助、震災支援寄贈マークの呼びかけを継続 ● ウェブヘルマーク協会から助成金888万9,244円届く ● キューピーの特別寄付が終了 	<p>2017年4月予定の消費税率10%への引き上げを19年10月まで延期することを政府が正式表明</p> <p>台風10号で豪雨。岩手では高齢者グループホームの入所者9人が犠牲</p> <p>熊本県阿蘇山中岳が36年ぶりに爆発的噴火</p> <p>鳥取県中部と茨城県で震度6弱の地震</p> <p>新潟県糸魚川市では大火</p> <p>熊本県熊本地方でM6.5の前震とM7.3の本震が発生、ともに同県益城町などで最大震度7を観測。住宅や学校、熊本城など多数の建築物が損壊</p>